

The logo for NSG GROUP is centered within a black rectangular border. The letters 'NSG' are rendered in a large, bold, blue outline font. Below them, the word 'GROUP' is written in a smaller, solid blue, sans-serif font.

NSG
GROUP



NSG グループ

2016年3月期第3四半期決算報告

(2015年4月1日～2015年12月31日)

日本板硝子株式会社
2016年1月29日

森 重樹

代表執行役社長兼CEO

マーク・ライオンズ

代表執行役副社長兼CFO

イアン・スミス

グループ財務コントローラー

NSGグループ・2016年3月期第3四半期決算説明会に参加いただき、ありがとうございます。社長の森重樹です。

本日の説明会では、私とCFOのマーク・ライオンズ、そしてグループ財務コントローラーのイアン・スミスよりご説明させていただきます。

2016年3月期第3四半期決算報告

(2015年4月1日～2015年12月31日)



目次

- 要点
- 決算概要
- 事業状況
- 業績予想・まとめ

4ページは、本日の内容となります。

まず、私の方から今回の決算のポイントについて説明を行います。

次に、イアンから財務業績について説明を行います。

その後、マークの方から、地域毎の事業業績と2016年3月期の業績見通しについて説明を行います。

要点：2015年4月－2015年12月

- 第3四半期の無形資産償却前営業利益は、第2四半期から改善
- ディ스플레이は厳しい市場環境の影響を受ける
- 欧州では改善の兆しが見られる
- 日本の業績は改善
- 北米と東南アジアは、好調を持続
- 南米は市場状況が低調に推移

ではスライド5をご覧ください。

本日、第3四半期の業績と、通期見通しを、発表させて頂きました。

第3四半期までの営業利益進捗については、本スライドにまとめた通りでございます。

ディスプレイ事業や南米は引き続き厳しい環境にありますが、日本、北米、東南アジアの好調を反映し、全体として第3四半期業績は第2四半期より着実に改善しております。

欧州地域にも改善の兆しが見えております。

通期見通しにつきましては、第2四半期決算発表の折、税引前利益以下を未定とさせて頂きましたが、本日数字を開示いたしました。

誠に遺憾でございますが、最終の当期損益ベースで損失を計上する見通しとなりました。

詳細はのちほどご説明いたしますが、主な要因としては、ディスプレイ事業等での業績悪化と一部新興国合弁事業の悪化による税前利益の減少が主因です。

それでは、イアンから財務業績についてご説明させていただきます。

2016年3月期第3四半期決算報告

(2015年4月1日～2015年12月31日)



目次

要点

決算概要

事業状況

業績予想・まとめ

連結損益計算書



(億円)	16年3月期 4月-12月期	15年3月期 4月-12月期
売上高	4,796	4,666
無形資産償却前営業利益	166	167
償却費*	(60)	(63)
営業利益	106	104
個別開示項目	(32)	107
金融費用(純額)	(137)	(134)
持分法による投資利益/(損失)	(10)	(4)
税引前利益/(損失)	(73)	73
当期利益/(損失)	(123)	54
親会社の所有者に帰属する当期利益/(損失)	(141)	47
EBITDA	419	412

* ビルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却

2016年1月29日 | 2016年3月期第3四半期決算報告

7

森さん、ありがとうございます。それでは、7ページに移ります。
ここでは、損益計算書をご覧ください。

売上高は4,796億円となり、前年比3%の増加となりました。為替変動の影響を除くと、前年比1%の増加となります。

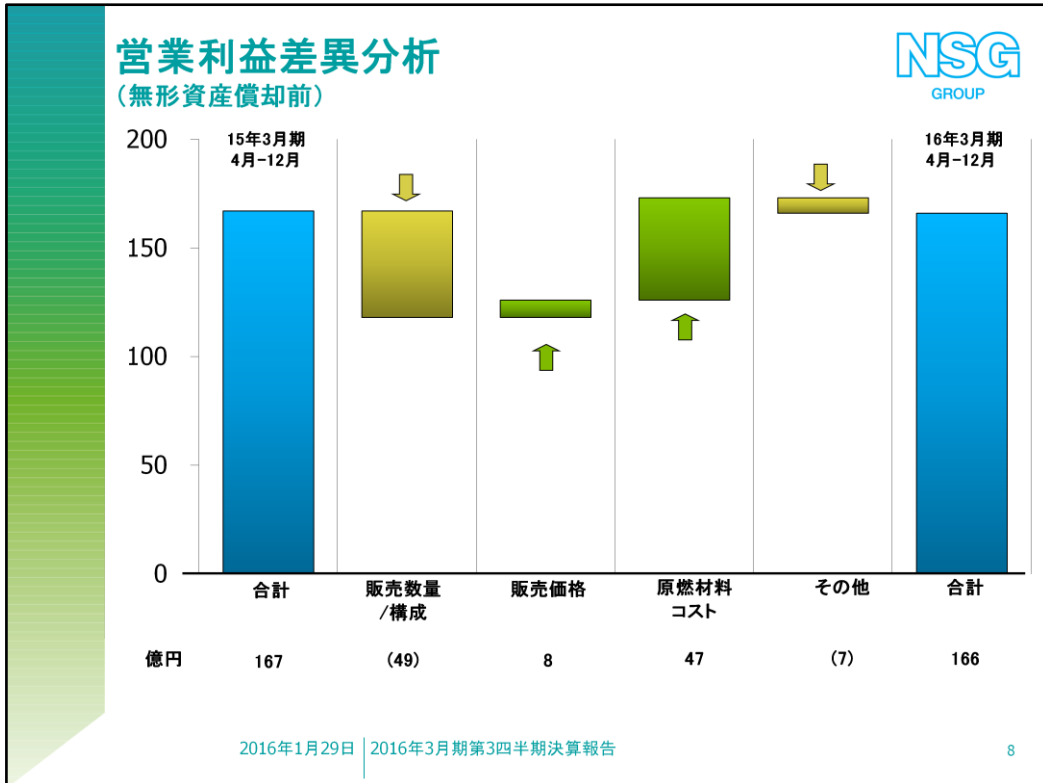
無形資産償却前営業利益は、前年同期と同じ水準です。これは、市場状況が改善している地域と低調な地域が混在している状況を反映しています。

個別開示項目では、リストラクチャリング費用等により、32億円の損失を計上しています。前期では、一過性の「投資の分類変更による評価益」を計上しています。

金融費用は前年同期と同様の水準です。

持分法による投資損失は、中国における厳しい市場環境の影響を受け、前年同期と比べて悪化しています。

EBITDAは若干改善しました。



8ページでは、無形資産償却前営業利益について、前年同期との差異について説明しています。

「販売数量/構成」ですが、厳しい事業環境の影響を受けたディスプレイ事業の売上高の減少を反映しています。

「販売価格」はディスプレイ事業では下がっていますが、他ではそれを上回る改善が見られました。

「投入コスト」では、エネルギー・コストが下がりましたが、原材料費の上昇がその効果の一部を相殺しています。

連結キャッシュ・フロー



(億円)	16年3月期 4月-12月期	15年3月期 4月-12月期
当期利益/(損失)	(123)	54
減価償却費	313	312
利息支払額(純額)	(107)	(105)
法人所得税支払額	(29)	(33)
投資の分類変更による評価益	-	(133)
その他	95	(40)
営業活動によるキャッシュ・フロー(運転資本の増減考慮前)	149	55
運転資本の増減	(137)	(79)
営業活動によるキャッシュ・フロー	12	(24)
固定資産の取得	(230)	(218)
その他	(4)	49
投資活動によるキャッシュ・フロー	(234)	(169)
フリー・キャッシュ・フロー	(222)	(193)

2016年1月29日 | 2016年3月期第3四半期決算報告

9

9ページでは、キャッシュ・フロー計算書をご確認いただけます。

第3四半期累計のフリー・キャッシュ・フローは、222億円のマイナスとなりました。

第3四半期累計の営業キャッシュ・フローは、運転資本の増加によるマイナスの影響を受けながらも、プラスとなりました。これから年度末にかけて、キャッシュ・フローが改善することを見込んでおります。

主要財務指標(KPI)



	<u>2015年12月末</u>	<u>2014年12月末</u>
ネット借入(億円)	3,992	4,059
ネット借入/EBITDA	6.8x	7.0x
ネット借入/純資産比率	2.3	1.8
	<u>2016年3月期</u> <u>4月-12月期</u>	<u>2015年3月期</u> <u>4月-12月期</u>
EBITDA/インタレスト・カバレッジ	3.4x	3.5x
営業利益率*	3.5%	3.6%

* 無形資産償却前営業利益

2016年1月29日 | 2016年3月期第3四半期決算報告

10

10ページですが、主要財務指標となります。

「ネット借入」が前年同期と比較して減少しました。その影響で、「ネット借入/EBITDA」が若干改善しています。

スライドの下部に表示しております、損益に係る財務指標は、前年同期と同様の水準となりました。

それでは、ここからマークが各事業と地域の業績について説明いたします。

2016年3月期第3四半期決算報告

(2015年4月1日～2015年12月31日)



目次

要点

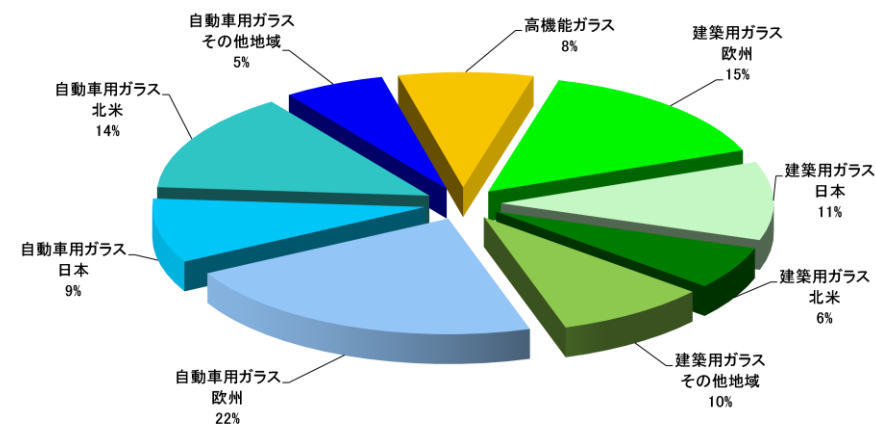
決算概要

事業状況

業績予想・まとめ

事業別売上高

4,796億円



2016年3月期
(2015年4月 - 12月)

2016年1月29日 | 2016年3月期第3四半期決算報告

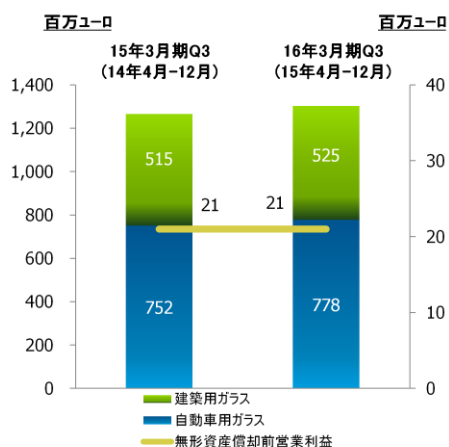
12

イアン、ありがとうございます。12ページへ移りましょう。

このスライドは、当社グループの事業セグメント毎の売上高構成比を示しています。

当社グループの売上高の構成比ですが、欧州が38%、日本が24%、北米が20%、その他の地域で18%、となっています。

欧州 2015年3月期第3四半期との比較



建築用ガラス事業

- 投入コストの削減効果を楽しむ一方、フロート窯の定修による影響を受ける
- 一部の地域で市場状況に改善の兆し

自動車用ガラス事業

- 現地通貨ベースの売上と利益は前年同期からわずかに改善
- 西欧において市場回復の兆候が見られる

2016年1月29日 | 2016年3月期第3四半期決算報告

13

13ページへ移ります。ここでは欧州における当社グループの建築用ガラス事業と自動車用ガラス事業の業績についてご覧いただけます。

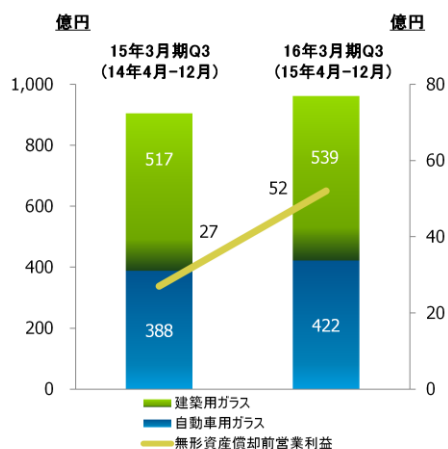
欧州の建築用ガラス市場は、安定的に推移しました。

当社グループの利益は、エネルギー関連の投入コストの削減効果を楽しむ一方で、ポーランドの窯の定修の影響を受けています。

一部の地域では、市場状況に改善の兆しが見えています。

自動車用ガラス市場でも、西欧で乗用車販売台数が増加していることなど、市場回復の兆しが見えています。

日本
2015年3月期第3四半期との比較



建築用ガラス事業

- 価格の改善と投入コストの削減により、増収増益

自動車用ガラス事業

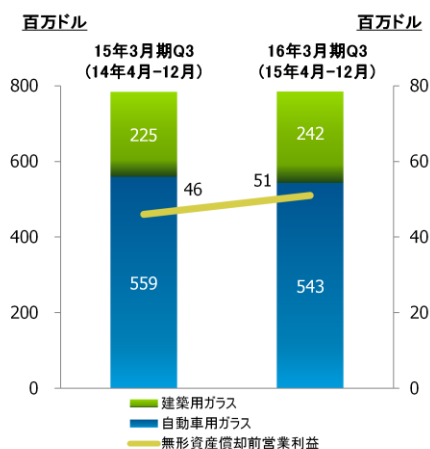
- エコ・カー減税制度の改定により乗用車販売台数が減少しているなか、増収増益

14ページへ移ります。

建築用ガラス事業は、販売価格の上昇とエネルギー関連コストの削減により、利益が改善しました。

自動車用ガラス事業は、エコ・カー減税制度の改定により乗用車販売台数が減少するなど市場が弱含みのなか、増収増益となりました。

北米 2015年3月期第3四半期との比較



建築用ガラス事業

- 建築用ガラス市場の好調の継続により、増収増益

自動車用ガラス事業

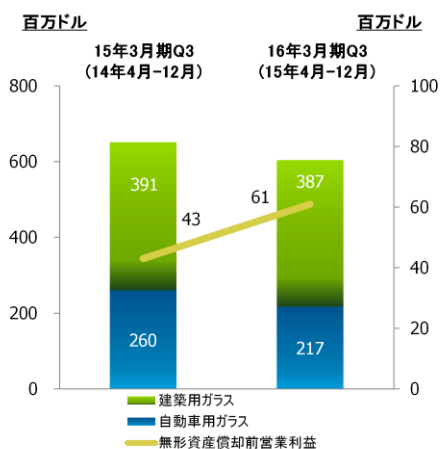
- 市場の改善が見られるなか、現地通貨ベースの売上は前年同期をわずかに下回る

15ページに移ります。

建築用ガラス事業は、市場の好調の継続により、増収増益となりました。

自動車用ガラス事業の現地通貨ベースの売上は、新車(OE)用ガラス市場が改善を見せるなか、前年同期と比べて若干減少しました。

その他地域 2015年3月期第3四半期との比較



建築用ガラス事業

- 東南アジアは、堅調な需要により好調を維持
- アルゼンチンは、フロート窯の定修の影響により減益

自動車用ガラス事業

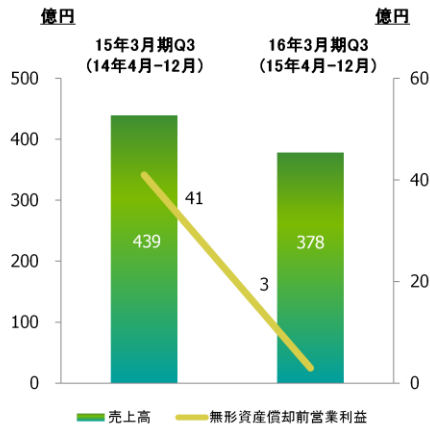
- 南米の市場は低調に推移

16ページへ移ります。

建築用ガラス事業では、東南アジアが好調な需要による影響を享受しましたが、南米はアルゼンチンの窯の定修の影響により減益となりました。

南米の自動車用ガラス市場では、乗用車販売台数が前年から大きく落ち込むなど、引き続き厳しい経済状況の影響を受け、低調に推移しています。

高機能ガラス事業 2015年3月期第3四半期との比較



高機能ガラス事業

- ディスプレイ用薄板ガラスは厳しい市場環境と生産不調の影響を受け、減収減益
- オフィス向けプリンター用レンズの需要は、第3四半期に入り軟調
- グラスコードは前年同期並みの数量

17ページの高機能ガラス事業へ移ります。

高機能ガラス事業の利益は、ディスプレイ事業が厳しい市場環境の影響を受けたことにより減益となりました。

第3四半期に入り、オフィス向けプリンター用レンズの需要は軟化しましたが、グラスコードの数量は前年と同様の水準で推移しました。

2016年3月期第3四半期決算報告

(2015年4月1日～2015年12月31日)



目次

- 要点
- 決算概要
- 事業状況
- 業績予想・まとめ

2016年3月期連結業績予想



(億円)	当初 予想	前回 予想	今回 修正予想
売上高	6,550	6,500	6,500
営業利益	240	190	190
税引前利益	80	-	10
当期利益/(損失)	35	-	(55)
親会社の所有者に帰属する当期利益/(損失)	20	-	(75)

2016年1月29日 | 2016年3月期第3四半期決算報告

19

それでは、19ページの2016年3月期の連結業績予想へ移ります。

このスライドでは、昨年5月14日に公表しました2016年3月期の連結業績予想とその推移を示しています。

昨年の10月29日に当初の予想を修正しておりますが、その時点では営業利益より下の損益区分の見込みを未定としておりました。

2016年3月期連結業績予想



- 無形資産償却前営業利益は、2015年10月29日に公表した予想から変更なし
 - ディ스플레이は引き続き厳しい市場環境の影響を受ける見通し
- 中国のジョイント・ベンチャー及び関連会社を取り巻く厳しい市場環境
- 堅調な建築用ガラス事業の業績により、欧州・北米・東南アジアで法人所得税費用が増加する見込み

2016年1月29日 | 2016年3月期第3四半期決算報告

20

それでは、20ページへ移ります。

ディスプレイ事業を取り巻く市場環境の厳しさが続くと見込んでいますが、第2四半期の決算時に公表しました営業利益の見込みは変更していません。

また、今回の修正予想ですが、中国のジョイント・ベンチャー及び関連会社を取り巻く厳しい市場環境や、堅調な建築用ガラス事業の業績による法人所得税費用の増加を織り込んだものとなっています。

まとめ

- 第3四半期の無形資産償却前営業利益は、第2四半期から改善
- ディ스플레이は厳しい市場環境の影響を受ける
- 欧州では改善の兆しが見られる
- 日本の業績は改善
- 北米と東南アジアは、好調を持続
- 南米は市場状況が低調に推移
- 税引前損益・当期損益・親会社の所有者に帰属する当期損益について、業績予想を開示

21ページは、この四半期決算のまとめになります。

第3四半期の無形資産償却前営業利益は、第2四半期から改善を見せています。

ディスプレイ事業は、厳しい市場環境の影響を受けています。

欧州では、建築用ガラスと自動車用ガラスのいずれの市場において改善の兆しが見られます。

日本では業績が改善しています。

北米と東南アジアでは引き続き好調な業績が持続している一方で、南米は低調な経済状況の影響を受けています。

最後に、未定としておりました税引前損益・当期損益・親会社の所有者に帰属する当期損益について、業績予想を開示いたしました。

ご注意



当資料の業績見通しは、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。その要因の主なものとしては、主要市場（欧州、日本、北米、アジア等）の経済環境及び製品需給の変動、為替相場の変動等があります。

日本板硝子株式会社

補足資料

事業部門別・地域別売上高 (2015年4月1日～2015年12月31日)



(億円)	欧州	日本	北米	その他 地域	合計
建築用ガラス	707	539	296	473	2,015
自動車用ガラス	1,047	422	663	265	2,397
高機能ガラス	60	178	9	131	378
その他	1	5	0	0	6
合計	1,815	1,144	968	869	4,796

償却前営業利益*
(2015年4月1日～2015年12月31日)



(億円)	建築用ガラス	自動車用ガラス	高機能ガラス	その他	合計
営業利益*	167	50	3	(54)	166

(億円)	欧州	日本	北米	その他地域	合計
営業利益*	19	10	61	76	166

*: 無形資産償却前営業利益

2016年1月29日 | 2016年3月期第3四半期決算報告

25

為替レート



	2015年3月期 4月-12月期	2016年3月期 4月-12月期
期中平均為替レート:		
円/英ポンド	176	187
円/ユーロ	141	135
円/米ドル	107	122
期末為替レート:		
円/英ポンド	187	179
円/ユーロ	145	133
円/米ドル	121	121

NSG

GROUP